

# CCD タッチバーコードリーダー AC-890 取扱説明書

Ver.K

ご使用前に必ずお読み下さい



株式会社エイポック

[www.a-poc.co.jp](http://www.a-poc.co.jp)

本書は A5 サイズです。A4 用紙に 2 ページ印刷すると、丁度よいサイズになります。

- 製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- 本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

## 目次

改訂履歴	6
取り扱い上の注意 必ずお読み下さい	7-11
第1章 はじめに	12
1-1 本書について	12
1-2 製品の特長	12
1-3 付属品	12
1-4 別途ご用意下さい	12
1-5 各部の名称	12
第2章 セットアップ	13
2-1 製品の取り出し	13
2-2 スキャナのセットアップ	13
2-3 最初に設定して下さい（おすすめの設定）	13
2-4 よく使う設定（Enter・Tab・無し）	14
第3章 操作	15
3-1 使い方	15
3-2 タッチ読み	15
3-3 離し読み	15
3-4 スキャナの通知	16
第4章 USB バーチャル COM	17
4-1 特徴	17
4-2 動作条件	17
4-3 別途ご用意下さい	17
4-4 ドライバ	17

4-5	USB バーチャル COM の設定とドライバのインストール	18
4-6	COM ポートの確認	19
4-7	使用の開始	19
4-8	スキャナの取り外しについて	19
<b>第5章</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>20</b>
5-1	読み取り窓の清掃	20
5-2	ケーブルの点検	20
<b>第6章</b>	<b>困ったときは</b>	<b>21-22</b>
<b>第7章</b>	<b>仕様</b>	<b>23</b>
7-1	仕様表	23
7-2	寸法	23
7-3	分解能・読取距離図	24
<b>第8章</b>	<b>出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧</b>	<b>25</b>
8-1	初期値の一覧	25-34
8-2	コード ID 一覧	35
<b>第9章</b>	<b>設定の方法</b>	<b>37</b>
9-1	設定について	37
9-2	設定フローチャート	37
9-3	設定の初期化	38
9-4	基本的な設定	38
9-5	数値・桁数の設定	39
9-6	アスキーの設定（文字・キーの設定）	39-40
9-7	読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定	41
9-8	バーコードタイプ、コード ID、桁数を転送する設定	42
9-9	1 桁目から連続する 0（ゼロ）を削除する設定	43

9-10	読み取りデータの前方と後方を削除する設定	44
9-11	読み取りデータに文字やキーを挿入する設定	45
<b>第10章</b>	<b>設定メニュー</b>	<b>47</b>
10-1	初期化、バージョン情報、設定中止	47
10-2	USBインターフェースの設定	48
10-3	動作設定 ブザー	49
10-4	動作設定 スキャニング	50
10-5	動作設定 LED	51
10-6	動作設定 読み取り一致	52
10-7	動作設定 プリアンブル/プレフィックス/サフィックス/ポストアンブル	53
10-8	動作設定 バーコードタイプ、コードID、桁数の転送	54
10-9	動作設定 アルファベット大文字小文字の変換	55
10-10	動作設定 制御文字の転送	56
10-11	動作設定 最小読取桁数 / 最大読取桁数	57
10-12	読取設定 UPC-A	59-60
10-13	読取設定 UPC-E	61-62
10-14	読取設定 EAN 13 / JAN 13	63-64
10-15	読取設定 EAN 8 / JAN 8	65-66
10-16	読取設定 Code 39	67-68
10-17	読取設定 Interleaved 2 of 5 (ITF)	69-70
10-18	読取設定 Industrial 2 of 5	71-72
10-19	読取設定 Matrix 2 of 5	73-74
10-20	読取設定 Codabar / NW7	75-76
10-21	読取設定 Code 128	77-78
10-22	読取設定 Code 93	79-80
10-23	読取設定 Code 11	81-82
10-24	読取設定 MSI/Plessey	83-84
10-25	読取設定 UK/Plessey	85-86
10-26	読取設定 Telepen	87-88

10-27	読取設定	GS1 Databar(GS1データバー標準型、切詰型)	.....	89-90
10-28	読取設定	GS1 Databar Limited(GS1データバー限定型)	.....	91-92
10-29	読取設定	GS1 Databar Stacked(GS1データバー二層型、標準二層型)...		93-94

第 11 章	保証と修理	.....	95
11-1	保証	.....	95
11-2	修理	.....	96

付録 A	サンプルバーコード	.....	97
A-1		.....	97
A-2		.....	98
A-3		.....	99

付録 B	先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で転送する設定	.....	100
------	-----------------------------	-------	-----

付録 C	英数メニュー / アスキーコード表	.....	101
------	-------------------	-------	-----

## 改訂履歴

Ver.F	初版発行	
Ver.G	修正	表紙を修正
	追記	第 1 章 1-5 各部の名称に追記
	追記	第 11 章 保証と修理に追記
Ver.H	修正	第 7 章 仕様を更新
Ver.I	修正	目次を更新
	変更	第 10 章内の章番号を変更
	変更	第 10 章 動作設定 制御文字のファンクションキー変換の設定名変更 変更前：制御文字のファンクションキー変換 変更後：制御文字の転送
	変更	第 10 章 読取設定 Code 128 転送形式 Code 128 の設定名変更 変更前：Code 128 変更後：標準
	追記	第 10 章 読取設定 Code 128 区切り FNC1 の文字、AI のカッコの文字の設定メニューを追記 ファームウェアバージョン(FW)0001-0021 にて GS1-128 の区切り FNC1 の処理を変更した為
	変更	第 10 章 読取設定 GS1 Databar 各種の最終桁の転送を変更、追記 FW 0001-0021 にて最終桁の転送の設定を廃止した為
	修正	上記 Ver.I の各変更に伴い、関連ページを修正 その他修正
Ver.J	修正	第 7 章 仕様を更新
Ver.K	修正	第 10 章 JAN 13 ISBN/ISSN 形式に変換のメニューを修正

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




## 取り扱い上の注意 必ずお読み下さい

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。



本製品を正しく使用するために、必ずお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。

本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

### 警告表示の意味

 <b>危険</b>	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 <b>警告</b>	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 <b>注意</b>	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

### 絵記号の意味

 <b>警告</b>	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 <b>注意</b>	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



**危険**



本製品を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。

破裂、発火や火傷の原因となります。



本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。

目に障害を与える恐れがあります。



本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。



**プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。**

発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。



**直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。**

破裂、発火や火傷の原因となります。



**本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。**

発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。



**警告**



**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。**



**液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



**煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



**接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。**

付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



**読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。**

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



**読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。**

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。  
火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。  
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。  
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。



**注意**



パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ  
→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ  
→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ  
→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ  
火気の周辺、または熱気のコモるところ  
→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ  
→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。  
条例については、各地地方自治体にお問い合わせ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
- (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス A デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**ご利用上の注意**

- 本製品はすべての USB を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。

**読み取らないバーコードの注意**

- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。
- 仕様外のバーコードは読み取りません。

**ご案内 GS1 Databar Expanded の設定について**

GS1 Databar Expanded、GS1 Databar Expanded Stacked の設定メニューはユーザー専用ページで配布しております。(これらのコードタイプは寸法などによっては読み取りません。お客様の混乱を防ぐ為、本書に掲載していません)

**ユーザー専用ページ**

<https://www.a-poc.co.jp/dl2/>

ログイン ID とパスワードの記載場所→製品付属の「かんたんガイド」に表示

## 1-1 本書について

本書では、バーコードリーダーAC-890の操作方法について一般的な情報を説明します。

## 1-2 製品の特徴

AC-890（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。本製品は読み取ったバーコードデータをパソコンに転送・入力することができます。

- コンパクトで軽量（60g） 持ちやすく場所をとらないデザイン
- 高速なバーコード読み取り（32ビットCPU搭載、分解能0.1mm）
- タッチ読み取りから距離120mmまでの離し読みが可能
- 省エネ（低消費電流 動作時90mA 待機時27mA～15mA）
- USB HID キーボードインターフェース(出荷時)、USB バーチャル COM(設定時)対応

## 1-3 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

AC-890(スキャナ本体、ケーブル付き) かんたんガイド

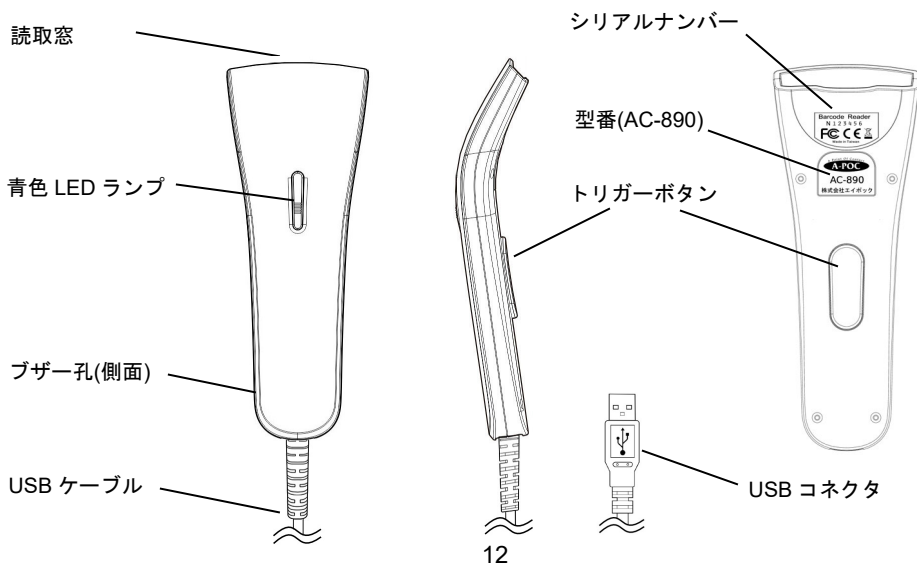
**ご案内** 本書の印刷物は付属しておりません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

## 1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン

**ご注意** 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

## 1-5 各部の名称



## 第2章 セットアップ

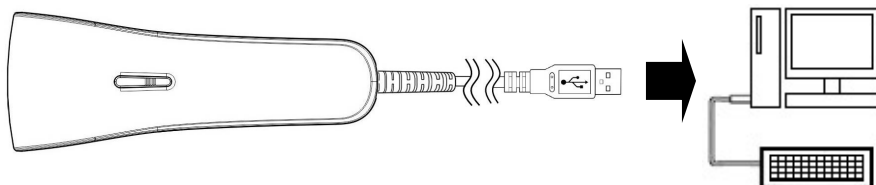
### 2-1 製品の取り出し

箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

### 2-2 スキャナのセットアップ

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。



### 2-3 最初に設定して下さい (おすすめの設定)

はじめて使うときは、スキャナで下記の設定メニュー(設定用バーコード)1~4 を順に読み取り設定して下さい。スキャナの読取窓を設定メニューにかぶせてトリガーボタンを押すと読み取ります。

1. 設定開始 (設定開始の音が鳴ります)



2. キーボードレイアウト 日本キーボード



3. Interleaved 2 of 5(ITF)読み取り 許可



4. 設定終了 (設定終了の音が鳴ります)



設定後、5秒ほどお待ち下さい。すぐ読むとエラーブザーが鳴ります

**メモ** 上記の設定をしなくても使用できますが、設定すると主な用途で使用できるようになります。

## 2-4 よく使う設定 (Enter・Tab・無し)

- ・ 出荷時のスキャナはデータの終端に Enter (エンター、改行) を転送します
- ・ Enter を Tab (タブ)、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の 1~5 の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

### 1. 設定開始



### 2. ポストアンプルのデータ (データ終端の設定)



### 3. Enter、Tab、なしを選択

Enter(改行) <b>※出荷時設定</b>	Tab(タブ)	無し
0		0
 	0	 
D	 	9
 	9	 

### 4. セット



### 5. 設定終了



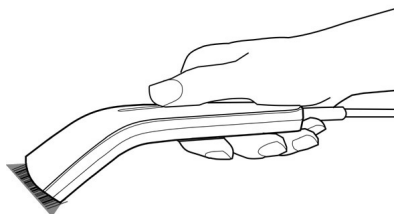
**メモ** 詳しくは「第 9 章 設定の方法」「第 10 章 設定メニュー」をお読み下さい。

### 3-1 使い方

- 1) スキャナをパソコンに接続して下さい。
- 2) パソコンのソフトを立ち上げ、バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) バーコードの読み取りを開始して下さい。バーコードを読み取るごとにデータを転送します。サンプルバーコード(巻末)などを読み取ってお試し下さい。

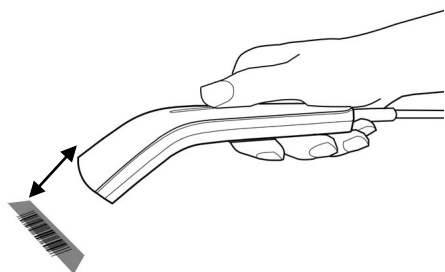
### 3-2 タッチ読み

- 1) スキャナのトリガーボタンを押して下さい。
- 2) 読み取り窓をバーコードにかぶせて下さい。  
スキャナがバーコードを読み取ります。

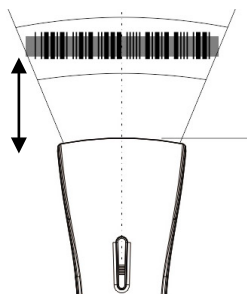


### 3-3 離し読み

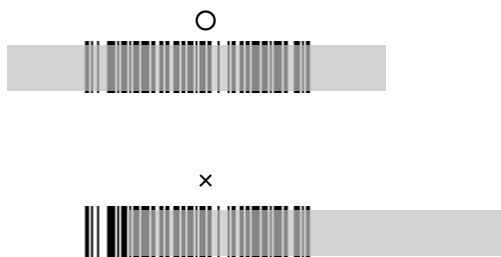
- 1) スキャナのトリガーボタンを押し、読み取り窓をバーコードから離して下さい。
- 2) エイマー(赤色光)をバーコードに照射して下さい。スキャナがバーコードを読み取ります。



**メモ** 読み取り窓より長いバーコードは離し読みをして下さい。



**メモ** エイマー(赤色光)はバーコードの左右からはみ出るよう照射して下さい。



### 3-4 スキャナの通知

#### ブザー

ブザーの鳴り方	意味
メロディーの後に長い音	スキャナの電源オン
1回（ピ）	読み取り成功
上昇メロディー	設定開始
高低（ピロ）	設定メニュー読み取り
高低高低（ピロピロ）	設定メニュー読み取り 次に英数メニュー読み取りが必要
2回（ピピ）	英数メニュー読み取り
短い上昇メロディー	設定メニューの「セット」読み取り
下降メロディー	設定終了
5回の低音	エラー（設定終了した直後に読み取った） 少しお待ち下さい

#### 青色 LED ランプ

LED の状態	意味
1回点灯	読み取り成功
消灯	スリープ（または電源が入っていない）

## 第4章 USB バーチャル COM



ご注意

- ・ USB バーチャル COM は技術者向けの設定です。
- ・ エクセルなどにデータ入力する場合、USB バーチャル COM の設定は必要ありません。通常は設定しないでそのままお使い下さい。
- ・ USB バーチャル COM に設定するとエクセルなどに入力しなくなりますのでご注意ください。

### 4-1 特徴

---

スキャナを USB バーチャル COM インターフェースに設定すると、スキャナはコンピュータの仮想 COM ポートに読み取りデータを転送します。

### 4-2 動作条件

---

対応機種：USB を搭載した PC/AT 互換機

動作確認 OS：Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows XP

※ ドライバは Windows の管理者権限 (Administrator) でインストールして下さい

※ すべての機器との動作を保証するものではありません。

### 4-3 別途ご用意下さい

---

シリアル通信のデータ受信に対応するシステムやアプリケーション

### 4-4 ドライバ

---

スキャナを USB バーチャル COM で動作させるには製品専用のドライバ [C0801b.inf] と [c0801b.cat] が必要です。ドライバは弊社ホームページからダウンロードし、パソコンのお好きな場所に保存してください。

#### ドライバのダウンロードページ

<https://www.a-poc.co.jp/dl2/>

ログイン ID とパスワードの記載場所→製品付属の「かんたんガイド」に表示

## 4-5 USB バーチャル COM の設定とドライバのインストール

### 4-5-1 スキャナを USB バーチャル COM に設定するには

- 1) 「8-3. ドライバ」を参照し、ドライバをパソコンに保存して下さい。
- 2) このページの設定メニュー **設定開始** → **RS232** → **USB COM 許可** → **設定終了** を読み取って下さい。
- 3) パソコンが[新しいデバイスの追加ウィザード]を開始します。画面を進めてドライバ [C0801b.inf] と [c0801b.cat] を保存した場所を指定しインストールして下さい。

**メモ 1** 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」「発行元を検証できません」「Windows のロゴテストに合格していません」と表示したら[続行]を選択して下さい。動作に問題はありません。Windows 8 以上はデジタル署名に対応しています。




**メモ 2** ウィザードが開始しない場合、および Windows 10 は次項メモ 5 を参照して下さい。

### 4-5-2 スキャナを出荷時の USB HID キーボードに設定するには


**設定開始** → **USB HID キーボード** → **USB COM 禁止** → **設定終了** を読み取って下さい。

**注意** USB バーチャル COM を設定するとエクセルなどに入力しなくなります。


**USB バーチャル COM  
設定開始**




**0DC2**                      RS232




**2A01**                      USBCOM 許可




**設定終了**




**USB HID キーボード  
設定開始**




**0DC1**                      USB HID キーボード



**2A00**                      USBCOM 禁止



**設定終了**

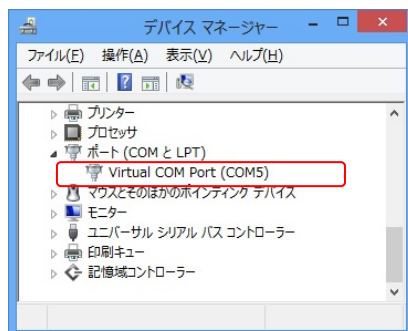


## 4-6 COM ポートの確認

パソコンのデバイスマネージャを開いて[ポート (COM と LPT)]に表示した本製品[Virtual COM Port(COMx)]の COM 番号を確認して下さい。番号はパソコンや USB ポートによって異なります。

### メモ 3 デバイスマネージャの開き方

Windows キーを押しながら R キーを押す→[ファイル名を指定して実行]に `devmgmt.msc` と入力→OK (コントロールパネルなどからも開けます)



**メモ 4 Windows 10 は自動的に[USB シリアルデバイス]と表示します。そのままでも読み取りは行えますが、ファームウェアアップデートなどは行えません。アップデートを行うには製品用のドライバに更新して下さい (下記メモ 5 を参照)。**

**メモ 5 [ほかのデバイス]、[不明なデバイス]、[C-200 Virtual COM Port]、「！」などの表示がある場合、ドライバのインストールに失敗しています。**

[C-200 Virtual COM Port](または COM Port、USB シリアルデバイスなど)を右クリック-[ドライバーソフトウェアの更新]-[一覧または特定の場所からインストールする]-パソコンの中から、保存したドライバの場所を指定して画面をすすめてインストールして下さい。



## 4-7 使用の開始

- 1) バーコードデータを転送するアプリケーションの COM ポートに、デバイスマネージャで確認したスキャナの COM 番号を設定してください。
- 2) スキャナでバーコードを読み取りテストして下さい。
- 3) 正常に動作したら、運用を開始してください。

**メモ 6** COM ポートの設定方法はアプリケーションによって異なります。アプリケーションについてはお客様のシステム担当者にご相談下さい。

## 4-8 重要 スキャナの取り外しについて

USB バーチャル COM に設定したスキャナをパソコンから取り外す場合は、先にパソコンの「COM」をクローズ (切断) し、シリアル通信を切断してください。COM をオープン (接続) したままでスキャナを取り外さないでください。

COM がオープン (接続) したままでスキャナを取り外すと、パソコンやアプリケーションのエラーの原因となります。COM をクローズする方法はアプリケーションに依存しますのでお客様のシステム担当者にお問い合わせください。

## 第5章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

### 5-1 読み取り窓の清掃

---



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。  
**読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。**

---

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

**読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。**

- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 強くこすらない→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

### 5-2 ケーブルの点検

---

ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

**定期的に応記のことを確認して下さい。**

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

## 第 6 章 困ったときは

### Q:設定の方法を知りたい

A:第 9 章「設定の方法」をお読み下さい。

### Q:連続でバーコードを読み取りたい

A:第 10 章 10-4 のトリガーモードを「タイムアウトオフ」などに設定して下さい。  
トリガーモードの設定は 6 種類あります。お好みの設定でお使い下さい。

### Q:バーコードを読み取らない

A:バーコードが読取窓より長くありませんか？ その場合、スキヤナを離し、赤色光が  
バーコードの左右からはみ出るように照射して下さい

### Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A: 第 10 章 10-17 の Interleaved 2 of 5 の読み取りを「許可」に設定して下さい

**メモ** Interleaved 2 of 5 を 2 桁から読み取るには 10-17(続き) の最小読取桁数を 2 桁に設定  
して下さい

**例** 設定開始 → (Interleaved 2 of 5)最小読取桁数 → 2 → セット → 設定終了

### Q: GS1 Databar Limited を読み取らない

A: 第 10 章 10-28 の GS1 Databar Limited の読み取りを「許可」に設定して下さい

ファームウェアバージョン 0001-0021 以下では、最終桁の転送を「許可」に設定して下さい

### Q:先頭が 0 の JAN13 を 12 桁で転送してしまう 13 桁で転送したい

A: 巻末「付録 B 先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で設定する」を設定して下さい。

### Q:新雑誌コード(JAN13 とアドオン 5 桁)を読み取りたい

A: 第 10 章 10-14 の EAN13/JAN13 を次の通り設定して下さい。

設定開始 → アドオン読み取り 許可 5 桁 → アドオン確認 許可 → 設定終了

5 桁を読み落としやすい場合はアドオン確認回数を多く設定して下さい。

設定開始 → アドオンの確認回数 → 2 → 0 → セット → 設定終了

出荷時の数値は 10(英数メニューは 1→0)です。

数字が大きいほど読み落しは減りますが、JAN13 のみの読み取りは遅くなります。

### Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ \* を転送したい

A: 第 10 章 10-16 の Code 39 スタート/ストップ転送を「許可」に設定して下さい。

### Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 第 10 章 10-20 の Codabar/NW7 スタート/ストップ転送を「許可」に設定して下さい

**Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい**

A:第 2 章 2-4 「改行の設定」の設定メニューで設定して下さい。詳しくは第 9 章 9-7 「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい

**Q:読み取りデータの文字が化ける**

A:第 10 章 10-2 キーボードレイアウトを **日本キーボード** に設定して下さい

**Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える**

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

**Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る**

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし[直接入力]を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい

IME(言語バー、「あ」などを)右クリック→[プロパティ]→([詳細設定]→[全般]タブ)  
→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]  
以上で IME(言語バー)を右クリックして[直接入力]を選択可能になります。  
※パソコンにより設定は異なります

または、第 10 章 10-2 Caps Lock を **ALT+テンキー** に設定してください。キーボードの入力状態に関わらずそのままデータを転送します。ただし転送速度は遅くなります  
※Windows 用の機能です。すべての機器での動作を保証するものではありません。

**Q:読み取りデータの途中の文字が抜ける**

A:第 10 章 10-2 ギャップの設定を 20msec などに設定して 1 文字ごとの転送速度を遅くして下さい

**例** 設定開始 → **ギャップ** → **2** → **0** → **セット** → **設定終了**

**Q:読み取りデータの終端に転送する Enter や Tab が抜ける**

A:第 10 章 10-2 デイレイの設定を 10msec などに設定してバーコードごとの転送速度を遅くして下さい

**例** 設定開始 → **デイレイ** → **1** → **セット** → **設定終了**

**Q:誤読する (異なる文字になる)**

A:第 10 章 10-6 読み取り一致を **許可** に設定して下さい

また、バーコードが破損している、印刷ミスがあるかなど、問題がないか確認して下さい

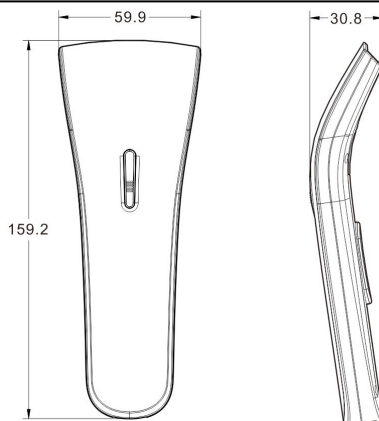
## 7-1 仕様表

読み取りバーコード	UPC,EAN,JAN ,Code 39, Interleaved 2 of 5(ITF), Industrial 2 of 5,Matrix 2 of 5, Codabar / NW7,Code 128, GS1-128, Code 93,Code 11, MSI/Plessey ,UK/Plessey,Telepn, GS1 Databar, GS1 Databar Stacked,GS1 Databar Limited, GS1 Databar Expanded, GS1 Databar Expanded Stacked
プロセッサ	32bit CPU
光学仕様	受光 : CCD リニアイメージセンサー 2500 pixels 光源 : 630nm 赤色 LED ランプ スキャン速度 : 100 スキャン/秒
読取仕様	分解能 : 0.1mm 読取距離 : 0~120mm (PCS0.9, 細バー0.39mm) 読取可能幅 : 110mm (離し読み時,PCS0.9,細バー0.39mm) PCS : 0.3 (細バー0.39mm,距離 0~30mm) 読取角度:スキュー±30° ピッチ:±30° チルト:20°
電力	入力: 5V±5% 消費電流:90mA(TYP) 待機時:35mA~20mA(TYP)
インターフェース	USB(HID キーボード/USB バーチャル COM)(ケーブル長 2m)
読み取り通知	青色 LED(読取成功)、ブザー(音量調節可能)
温度/湿度	保管:0~50 °C 動作: 保管:-20~70 °C / 20%~95%RH(非結露)
衝撃	1.2m の高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作
周囲照度	96,000 lux
ESD	接触放電:±9KV (直接印加) 気中放電:±16KV(間接印加)
防塵防滴	IP41
寸法	30.8mm x 59.9mm x 159.2mm (高さ x 幅 x 奥行き)
重量	60g (ケーブル除く)
EMI	FCC class A / CE / VCCI class B
動作確認 OS	Windows 10(32bit,64bit),Windows 8,Windows 7,Windows XP

**注意** バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

## 7-2 寸法

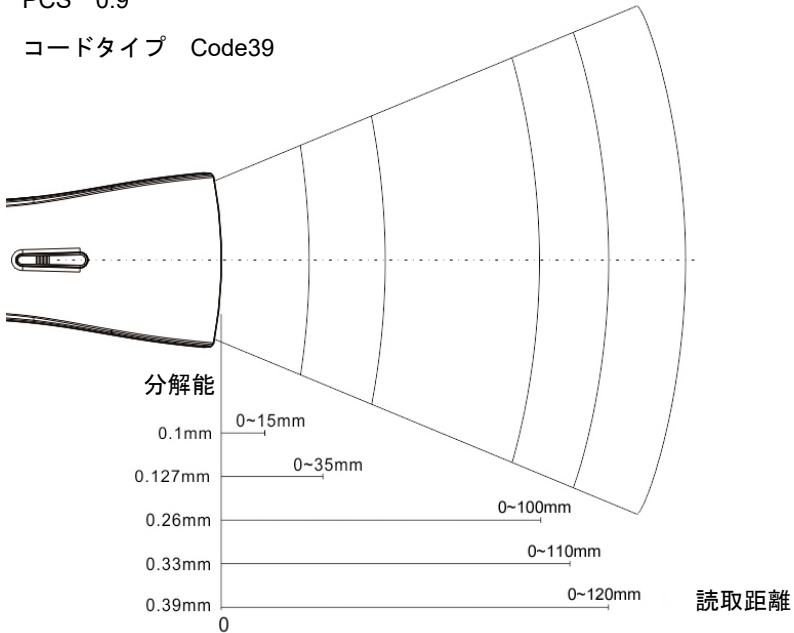
単位 : mm






## 7-3 分解能・読取距離図

PCS 0.9

コードタイプ Code39



### 参考表

細バー幅(分解能)	読取距離	見本バーコード(Code39)
0.26mm	0~100mm	
0.33mm	0~110mm	
0.39mm	0~120mm	

見本バーコードはおおよその寸法です。(A5 サイズで印刷して下さい)

## 第 8 章 出荷時の初期値一覧、コード ID 一覧

## 8-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

## 初期値の一覧表

USBインターフェースの設定	初期値	参照 ページ
キーボードレイアウト	英語キーボード	48
Caps Lock	オフ(詳細はp48をご確認下さい)	48
数字データ	フルキーボードとして入力する	48
ギャップ	0 (0msec)	48
ディレイ	0 (0msec)	48

ブザー	初期値	参照 ページ
電源オン時のメロディー	禁止	49
読み取りブザー	禁止	49
ブザー音量	10 (Level 10)	49
ブザー音調	27 (2700Hz)	49
ブザー長さ	10 (100msec)	49

スキヤニング	初期値	参照 ページ
トリガーモード	グッドリードオフ	50
2度読み防止	禁止	50
電源オン時のトリガー	禁止	50
同一コードの読取禁止時間	5 (500msec)	50

LEDの点灯時間	初期値	参照 ページ
読取確認の青色LED点灯時間	20 (200msec)	51
読取光源の赤色LED点灯時間	5 (5sec)	51

読み取り一致	初期値	参照 ページ
読み取り一致	禁止	52
読み取り一致回数	2 (2回)	52

## 初期値の一覧表(続き)

プリアンブル、プレフィックス、 サフィックス、ポストアンブル	初期値	参照 ページ
プリアンブルの転送	許可	53
プリアンブルのデータ	(なし)	53
プレフィックスのデータ	(なし)	53
サフィックスのデータ	(なし)	53
ポストアンブルの転送	許可	53
ポストアンブルのデータ	CR LF (設定値 0D 0A)	53

コードタイプ、コード ID、桁数	初期値	参照 ページ
コードタイプ転送	禁止	54
コードID転送	禁止	54
コードIDの位置	データの前	54
桁数転送	禁止	54

アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照 ページ
アルファベット大文字小文字の変換	禁止	55

制御文字の転送	初期値	参照 ページ
制御文字の転送	禁止	56

最小読取桁数/最大読取桁数	初期値	参照 ページ
最小読取桁数	0	57
最大読取桁数	0	57

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
UPC-A	読み取り	許可	59	
	チェックデジット転送	許可	59	
	アドオンの読み取り	禁止	59	
	アドオンの確認	禁止	59	
	アドオンの確認回数	10	59	
	先頭から連続する0の削除	禁止	60	
	データの削除	前方から削除	1	60
		後方から削除	0	60
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	60
		挿入1の位置	0	60
	挿入するデータ	挿入0のデータ		60
		挿入1のデータ		60
	コードIDの文字		A (設定値41)	60
	UPC-E	読み取り	許可	61
チェックデジット転送		許可	61	
アドオンの読み取り		禁止	61	
アドオンの確認		禁止	61	
アドオンの確認回数		10	61	
13桁に変換		禁止	58	
先頭から連続する0の削除		禁止	62	
データの削除		前方から削除	0	62
		後方から削除	0	62
挿入データの位置		挿入0の位置	0	62
		挿入1の位置	0	62
挿入するデータ		挿入0のデータ		62
		挿入1のデータ		62
コードIDの文字		E (設定値45)	62	
サブコードIDの文字		E	62	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
EAN 13 /JAN 13	読み取り	許可	63	
	チェックデジット転送	許可	63	
	アドオンの読み取り	禁止	63	
	アドオンの確認	禁止	63	
	アドオンの確認回数	10	63	
	ISBN/ISSNに変換	禁止	64	
	先頭から連続する0の削除	禁止	64	
	データの削除	前方から削除	0	64
		後方から削除	0	64
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	64
		挿入1の位置	0	64
	挿入するデータ	挿入0のデータ		64
		挿入1のデータ		64
	コードIDの文字	F (設定値46)	64	
サブコードIDの文字	F (設定値46)	64		
EAN 8/JAN 8	読み取り	許可	65	
	チェックデジット転送	許可	65	
	アドオンの読み取り	禁止	65	
	アドオンの確認	禁止	65	
	アドオンの確認回数	10	65	
	13桁に変換	禁止	66	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	66	
	データの削除	前方から削除	0	66
		後方から削除	0	66
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	66
		挿入1の位置	0	66
	挿入するデータ	挿入0のデータ		66
		挿入1のデータ		66
	コードIDの文字	FF (設定値46 46)	66	
サブコードIDの文字	FF (設定値46 46)	66		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
Code 39	読み取り	許可	67	
	スタート/ストップ転送	禁止	67	
	チェックデジット確認	禁止	67	
	チェックデジット転送	禁止	67	
	Code 39の形式	標準のCode 39	68	
	最小読取桁数	0	68	
	最大読取桁数	0	68	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	68	
	データの削除	前方から削除	0	68
		後方から削除	0	68
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	68
		挿入1の位置	0	68
	挿入するデータ	挿入0のデータ		68
		挿入1のデータ		68
	コードIDの文字		M (設定値4D)	68
Interleaved 2 of 5	読み取り	禁止	69	
	チェックデジット確認	禁止	69	
	チェックデジット転送	禁止	69	
	左右余白の減少	許可	69	
	最小読取桁数	4	70	
	最大読取桁数	0	70	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	70	
	データの削除	前方から削除	0	70
		後方から削除	0	70
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	70
		挿入1の位置	0	70
	挿入するデータ	挿入0のデータ		70
		挿入1のデータ		70
	コードIDの文字		I (設定値49)	70

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
Industrial 2 of 5	読み取り	禁止	71	
	チェックデジット確認	禁止	71	
	チェックデジット転送	禁止	71	
	最小読取桁数	4	72	
	最大読取桁数	0	72	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	72	
	データの削除	前方から削除	0	72
		後方から削除	0	72
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	72
		挿入1の位置	0	72
	挿入するデータ	挿入0のデータ		72
		挿入1のデータ		72
	コードIDの文字		H (設定値48)	72
Matrix 2 of 5	読み取り	禁止	73	
	チェックデジット確認	禁止	73	
	チェックデジット転送	禁止	73	
	最小読取桁数	4	74	
	最大読取桁数	0	74	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	74	
	データの削除	前方から削除	0	74
		後方から削除	0	74
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	74
		挿入1の位置	0	74
	挿入するデータ	挿入0のデータ		74
		挿入1のデータ		74
	コードIDの文字		G (設定値47)	74

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
Codabar/NW7	読み取り	禁止	75	
	スタート/ストップ転送	禁止	75	
	スタート/ストップ形式	ABCD/ABCD	75	
	チェックデジット確認	禁止	75	
	チェックデジット転送	禁止	75	
	最小読取桁数	0	76	
	最大読取桁数	0	76	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	76	
	データの削除	前方から削除	0	76
		後方から削除	0	76
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	76
		挿入1の位置	0	76
	挿入するデータ	挿入0のデータ		76
		挿入1のデータ		76
	コードIDの文字		N (設定値4E)	76
Code 128	読み取り	許可	77	
	転送形式	標準	77	
	区切りFNC1の文字 (FW0001-0021以上)	<GS> (設定値1D)	77	
	AIのカッコの文字 (FW0001-0021以上)	() (設定値28)	77	
	区切り文字 (FW0001-0020以下)	() (設定値28)	77	
	最小読取桁数	0	78	
	最大読取桁数	0	78	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	78	
	データの削除	前方から削除	0	78
		後方から削除	0	78
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	78
		挿入1の位置	0	78
	挿入するデータ	挿入0のデータ		78
		挿入1のデータ		78
	コードIDの文字		K (設定値4B)	78
サブコードIDの文字		K (設定値4B)	78	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
Code 93	読み取り	禁止	79	
	チェックデジット確認	許可 2桁	79	
	チェックデジット転送	禁止	79	
	最小読取桁数	0	80	
	最大読取桁数	0	80	
	1桁目から連続する0	禁止	80	
	データの削除	前方から削除	0	80
		後方から削除	0	80
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	80
		挿入1の位置	0	80
	挿入するデータ	挿入0のデータ		80
		挿入1のデータ		80
	コードIDの文字		L (設定値4C)	80
	Code 11	読み取り	禁止	81
チェックデジット確認		許可 2桁	81	
チェックデジット転送		禁止	81	
最小読取桁数		0	82	
最大読取桁数		0	82	
1桁目から連続する0		禁止	82	
データの削除		前方から削除	0	82
		後方から削除	0	82
挿入データの位置		挿入0の位置	0	82
		挿入1の位置	0	82
挿入するデータ		挿入0のデータ		82
		挿入1のデータ		82
コードIDの文字		O (設定値4F)	82	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
MSI/Plessey	読み取り	読み取らない	83	
	チェックデジット確認	許可 MOD10	83	
	チェックデジット転送	禁止	83	
	最小読取桁数	0	84	
	最大読取桁数	0	84	
	1桁目から連続する0の削除	禁止	84	
	データの削除	前方から削除	0	84
		後方から削除	0	84
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	84
		挿入1の位置	0	84
	挿入するデータ	挿入0のデータ		84
		挿入1のデータ		84
	コードIDの文字		P (設定値50)	84
UK/Plessey	読み取り	禁止	85	
	チェックデジット確認	許可 MOD10	85	
	チェックデジット転送	禁止	85	
	最小読取桁数	0	86	
	最大読取桁数	0	86	
	1桁目から連続する0	禁止	86	
	データの削除	前方から削除	0	86
		後方から削除	0	86
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	86
		挿入1の位置	0	86
	挿入するデータ	挿入0のデータ		86
		挿入1のデータ		86
	コードIDの文字		R (設定値52)	86
Telepen	読み取り	禁止	87	
	転送形式	自動識別	87	
	最小読取桁数	0	88	
	最大読取桁数	0	88	
	1桁目から連続する0	禁止	88	
	データの削除	前方から削除	0	88
		後方から削除	0	88
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	88
		挿入1の位置	0	88
	挿入するデータ	挿入0のデータ		88
		挿入1のデータ		88
	コードIDの文字		S (設定値53)	88

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	ページ	
GS1 Databar (GS1データバー 標準型、切詰型)	読み取り	禁止	89	
	]0eを先頭に転送		禁止	89
	AIにカッコ( )を付加		禁止	89
	最終桁の転送		禁止	89
	データの削除	前方から削除	0	90
		後方から削除	0	90
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	90
		挿入1の位置	0	90
	挿入するデータ	挿入0のデータ		90
		挿入1のデータ		90
	コードIDの文字		T (設定値54)	90
AIのカッコの文字		() (設定値28)	90	
GS1 Databar Limited (GS1データバー 限定型)	読み取り	禁止	91	
	]0eを先頭に転送		禁止	91
	AIにカッコ( )を付加		禁止	91
	最終桁の転送		禁止	91
	データの削除	前方から削除	0	92
		後方から削除	0	92
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	92
		挿入1の位置	0	92
	挿入するデータ	挿入0のデータ		92
		挿入1のデータ		92
	コードIDの文字		U (設定値55)	92
AIのカッコの文字		() (設定値28)	92	
GS1 Databar Stacked (GS1データバー 二層型、標準二層 型)	読み取り	禁止	93	
	]0eを先頭に転送		禁止	93
	AIにカッコ( )を付加		禁止	93
	最終桁の転送		禁止	93
	データの削除	前方から削除	0	94
		後方から削除	0	94
	挿入データの位置	挿入0の位置	0	94
		挿入1の位置	0	94
	挿入するデータ	挿入0のデータ		94
		挿入1のデータ		94
	コードIDの文字		V (設定値56)	94
AIのカッコの文字		() (設定値28)	94	

## 8-2 コード ID 一覧

コード ID は初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

### コード ID 一覧表

バーコードシンボル	コードID (ASCII)	コードIDの 設定値(HEX)	サブコードID (ASCII)	サブコードIDの 設定値(HEX)
UPC-A	A	41		
UPC-E	E	45	E	45
EAN 13 / JAN 13	F	46	F	46
EAN 8 / JAN 8	FF	46 46	FF	46 46
Code 39	M	4D		
Interleaved 2 of 5	I	49		
Industrial 2 of 5	H	48		
Matrix 2 of 5	G	47		
Codabar / NW7	N	4E		
Code 128	K	4B	K	4B
Code 93	L	4C		
Code 11	O	4F		
MSI / Plessey	P	50		
UK / Plessey	R	55		
Telepen	S	53		
GS1 Databar	T	54		
GS1 Databar Limited	U	55		
GS1 Databar Stacked	V	56		
GS1 Databar Expanded	W	57		
GS1 Databar Expanded Stacked	X	58		

**メモ** 次の設定時、コード ID の代わりにサブコード ID を転送します。

- ・ UPC-E・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ EAN13/JAN13・・・「ISBN/ISSN形式に変換する」設定時
- ・ EAN8/JAN8・・・「13桁に変換する」設定時
- ・ Code 128・・・転送形式を「UCC-128」か「GS1-128」設定時



## 第 9 章 設定の方法

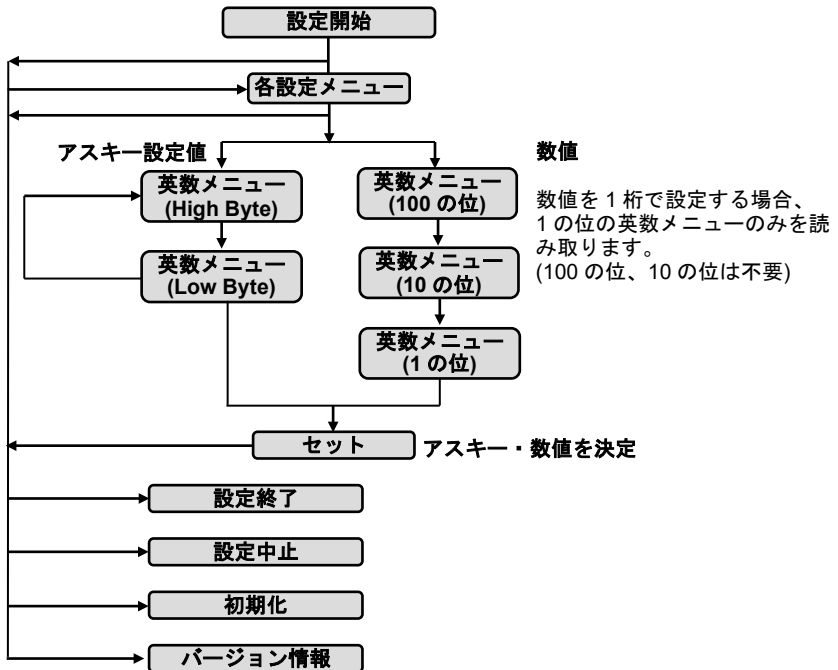
### Enter（改行）の設定について

データの終端に付く Enter（改行）を Tab や無しに設定するには 第 2 章 2-4「よく使う設定」の設定メニューをお使い下さい。

### 9-1 設定について

本製品は第 10 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

### 9-2 設定フローチャート



## 9-3 設定の初期化

---

初期化は3通りあります。いずれかの設定メニューを読み取って下さい。

### 9-3-1 すべての設定を初期化する

設定開始 → 全設定を初期化

すべての設定を初期値に戻します。

**メモ** キーボードレイアウトはUSに戻り、Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

### 9-3-2 USB インターフェースの設定を初期化する

設定開始 → USB インターフェースの設定を初期化

USB インターフェースの設定を初期値に戻します。

動作設定と読取設定は保持されます。

**メモ** キーボードレイアウトはUSに戻ります。

### 9-3-3 動作設定・読取設定を初期化する

設定開始 → 動作設定・読取設定を初期化

動作設定と読取設定を初期値に戻します。

USB インターフェースの設定は保持されます。

**メモ** Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

## 9-4 基本的な設定

---

禁止、許可、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

**例** 電源オンのメロディーを禁止にする（鳴らさない）

設定開始 → 電源オンのメロディー 禁止 → 設定終了

**例** トリガーモードをタイムアウトフラッシュに変更する

設定開始 → トリガーモード タイムアウトフラッシュ → 設定終了

## 9-5 数値・桁数の設定

設定メニューに「(次に)→1~10」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「1~10」なら1から10の範囲で数字を設定します。英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー（数字 1~3 桁） → セット → 設定終了

**例** ブザー音量を5に設定する

設定開始 → ブザー音量 → 5 → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

**注意** 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値 255 は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

## 9-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す2桁の設定値です。メニュー表に「(次に)→アスキー(最大2桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー(巻末)2つで1文字(1キー)を表します。

### 9-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表(巻末)から「A」を見つけます。Aは行の見出し(High)が4、列の見出し(Low)が1です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と1個ずつ読み取ります。

**例** プレフィックスに「A(設定値41)」を設定する

設定開始 → プレフィックスのデータ → 4 → 1 → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「(次に)→アスキー(最大 8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

**例** プレフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始 → プレフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → 3 → 1 → セット → 設定終了

## 9-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

**例** ポストアンブルに「Tab (設定値 09)」「Enter (設定値 0D)」を設定する

設定開始 → ポストアンブルのデータ → 0 → 9 → 0 → D → セット → 設定終了

**メモ** USB バーチャル COM の場合、00～1F はアスキーコード表の制御文字になります。

## 9-6-4 アスキーの消去

設定した文字やキーを消去するにはアスキーの設定値を「00」と設定して下さい。

**例** プレフィックスに設定した文字を消去する

設定開始 → プレフィックスのデータ → 0 → 0 → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

動作設定の **プリアンプルのデータ**、**プレフィックスのデータ**、**サフィックスのデータ**、**ポストアンプルのデータ** にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。各設定は最大 8 桁まで設定できます。

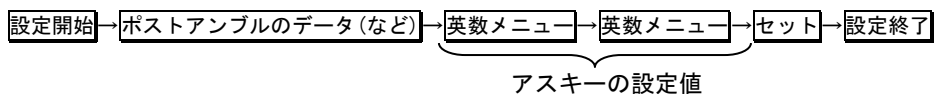
### 【データ転送形式】

プリアンプル	プレフィックス	バーコードタイプ	コードID	桁数	読み取りデータ	(コードID)	サフィックス	ポストアンプル
1-8 桁	1-8 桁	可変長	1-2 桁	2 桁		2 桁	1-8 桁	1-8 桁

<b>プリアンプル</b>	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。転送の許可と禁止の設定があります。禁止に設定すると転送しませんが設定した文字は保持されています。
<b>プレフィックス</b>	プリアンプルの次に文字を追加する設定です。
<b>サフィックス</b>	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。
<b>ポストアンプル</b>	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。転送の許可と禁止の設定があります。禁止に設定すると転送しませんが設定した文字は保持されています。 <u>出荷時は Enter (設定値 0D 0A) が設定されています。USB HID では設定値 0D が Enter となります(0Aは不要)</u>

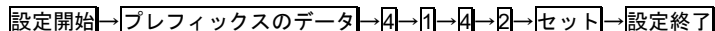
## 設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

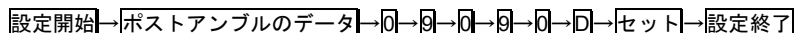


英数メニュー2つで1文字（1キー）を設定します

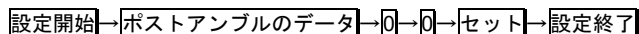
**例** プレフィックスに「A B(設定値 41 42)」を設定する



**例** ポストアンプルに「Tab Tab Enter(設定値 09 09 0D)」を設定する



**例** ポストアンプルのデータを消去する



**メモ** アスキーの設定値については 9-6 アスキーの設定をお読み下さい。

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-8 バーコードタイプ、コード ID、桁数を転送する設定

動作設定に「**バーコードタイプ転送**」、「**コード ID 転送**」、「**桁数転送**」の設定があります。

これらの設定を「許可」に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

【データ転送形式】（p37 と同じ）

プリアンブル	プレフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読み取りデータ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変長	1-2 桁	2 桁		2 桁	1-8 桁	1-8 桁

<b>バーコードタイプ</b>	読み取ったバーコードの種類です。 <b>例</b> Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。
<b>コード ID (サブコード ID)</b>	読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コード ID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コード ID の一覧は第 8 章「8-2 コード ID 一覧」をお読み下さい。 <b>例</b> Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。  下記の設定時はコード ID の代わりにサブコード ID を転送します。 ・UPC-E・・・「13 桁に変換する」設定時 ・EAN13/JAN13・・・「ISBN/ISSN 形式に変換する」設定時 ・EAN8/JAN8・・・「13 桁に変換する」設定時 ・Code 128・・・転送形式を「UCC-128」か「GS1-128」設定時
<b>桁数</b>	読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 <b>例</b> 6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。

### コード ID の文字の設定変更

各コードタイプの「**コード ID の文字**」の設定で、コード ID の文字を変更できます。コード ID の文字は 2 桁まで設定できます。

**例** Code39 のコード ID を「ZZ (設定値 5A 5A)」に設定する（初期値は M）

設定開始 → (Code39)コード ID の文字 → **5** → **A** → **5** → **A** → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

## 9-9 1桁目から連続する0（ゼロ）を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「1桁目から連続する0を削除」の設定があります。「許可」に設定すると1桁目から連続する0を削除して、0以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方（左側）を連続した0で埋めているとき、0を削除して転送できます。

### 設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → (1桁目から連続する0を削除)許可 → 設定終了

**例** Codabar/NW7 の1桁目から連続する0を削除する。

00005678 → 5678 と転送する。

設定開始 → (Codabar/NW7)1桁目から連続する0の削除 許可 → 設定終了

## 9-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「**前方から削除**」と「**後方から削除**」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1 桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。

### 設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

**例** Code 39 の 1～3 桁を削除する。1234567890 → 4567890 と転送する。

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 3 → セット → 設定終了

**例** Code 39 の後方から 4 桁目を削除する。1234567890 → 123456 と転送する。

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 4 → セット → 設定終了

### 元に戻す方法（削除しない）

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → (英数メニューの)0 → セット → 設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります

### **注意** 「UPC-A」の「前方から削除」について

UPC-A(12 桁のバーコード)のみ、「前方から削除」の初期値が「1」(1 桁削除)になっています。UPC-A の先頭桁を調整するときは、下記を参照して設定して下さい。

UPC-A に設定したいこと	設定
先頭に 0 を付けて 13 桁で転送する	設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了
UPC-A をそのまま 12 桁で転送する (出荷時の状態)	設定開始 → 前方から削除 → 1 → セット → 設定終了
先頭 1 桁を削除し 11 桁で転送する	設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

## 9-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は2箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は「挿入0の位置」と「挿入1の位置」のメニューで設定します。

<b>挿入0の位置</b>	1 箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を0に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。 1に設定すると、1 桁目の後に挿入データが付きます。
<b>挿入1の位置</b>	2 箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様）

挿入するデータは「挿入0のデータ」と「挿入1のデータ」のメニューで設定します。

<b>挿入0のデータ</b>	1 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。
<b>挿入1のデータ</b>	2 箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2 桁まで設定できます。

【挿入のイメージ図】 1234567890 に挿入を設定する例

123	<b>挿入0の位置</b> →3を設定	456	<b>挿入1の位置</b> →6を設定	7890
	<b>挿入0のデータ</b> →Tabを設定		<b>挿入1のデータ</b> →ABを設定	

### 設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。設定値の求め方は「7-5-2 文字の設定値の求め方」を参照して下さい。

**例** Code 39 の3桁目の後に Tab、6桁目の後に AB を挿入する。

1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。

#### 設定開始

- (Code 39)挿入0の位置→3→セット
- (Code 39)挿入0のデータ→0→9→セット
- (Code 39)挿入1の位置→6→セット
- (Code 39)挿入1のデータ→4→1→4→2→セット→設定終了

**メモ** 英数メニューとセットは巻末にあります




## 第 10 章 設定メニュー

### 10-1 初期化、バージョン情報、設定中止


<b>設定開始</b>	このページのメニューは <b>設定終了</b> が不要です
	

**注意** 初期化した後は、5 秒ほどお待ち下さい。すぐ読むとエラー音が鳴ります。

設定	設定メニュー
<b>全設定を初期化</b>  スキャナのすべての設定を初期値に戻す	 * Z A D E *

<b>USB インターフェースの設定を初期化</b>  第 10 章 10-2 の設定のみ初期値に戻す	 * Z K B D *
---	--

<b>動作設定と読取設定を初期化</b>  第 10 章 10-3 以降の設定を初期値に戻す	 * Z D E F *
--	--

<b>バージョン情報</b> PC のメモ帳などにスキャナのファームウェアバージョン(FW)を表示する	 * Z V E R *
--	---

<b>設定中止</b>  設定を中止して設定モードを終了する	 * Z E X T *
--------------------------------------	--

## 10-2 USB インターフェースの設定

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
---	---

**注意** このページの設定を変更した後は5秒ほどお待ち下さい。

	設定	初期値	設定メニュー
	英語キーボード	✓	 * 1 D C 0 *
	101 キーボード		
	日本キーボード		 * 1 D C 2 *
	106 キーボード		
<b>メモ</b> 下記欄外のメモを参照して下さい	Caps Lock オート		 * 1 B 8 0 *
	ALT+テンキー		 * 1 B 8 1 *
	オフ	✓	 * 1 B 8 2 *
	オン		 * 1 B 8 3 *
数字データ	フルキーボードとして入力	✓	 * 1 A 7 0 *
	テンキーパッドとして入力		 * 1 A 7 1 *
ギャップ (1文字間の転送時間) (次に)→0~255(単位:1ms)→セット→設定終了		0	 * 1 0 5 2 *
ディレイ (1バーコード間の転送時間) (次に)→0~255(単位:10ms)→セット→設定終了		0	 * 1 0 6 2 *

**メモ** Caps Lock について

バージョン 0001-0012 以下の Caps Lock 初期値はオートです。

バージョン 0001-0013 以上の Caps Lock 初期値はオフです。オートは使用できません。

バージョン 0001-0015 以上は Caps Lock オートを使用できます。

## 10-3 動作設定 ブザー



設定		初期値	設定メニュー
電源オンのメロディー	禁止		 *0A40*
	許可 スキャナに電源が入るとメロディーが鳴ります	✓	 *0A41*
読み取りブザー	禁止		 *8B00*
	許可 バーコードを読み取るとブザーが鳴ります	✓	 *8B01*
ブザー音量  (次に)→1~10(単位:レベル)→セット→設定終了		10	 *8142*
ブザー音調  (次に)→1~50(単位:100Hz)→セット→設定終了		27	 *8162*
ブザー長さ  (次に)→0~255(単位:10ms)→セット→設定終了		10	 *8152*

**例** ブザー音量を 5 に設定する

設定開始 → 
 ブザー音量 → 
 5 → 
 セット → 
 設定終了

## 10-4 動作設定 スキャニング




	設定	初期値	設定メニュー
トリガーモード トリガーを押したときの 赤色 LED の点灯方法	グッドリードオフ トリガーを押すと 5 秒点灯、 読み取り後オフ	✓	 *8AC2*
	モーメンタリ トリガーを押す間、連続点灯 トリガーを離すとオフ		 *8AC4*
	オルタネート トリガーを押すと連続点灯 押すたびにオン/オフ切り替え		 *8AC5*
	タイムアウトオフ トリガーを押すと連続点灯 読み取らないと 5 秒後、オフ		 *8AC3*
	タイムアウトフラッシュ トリガーを押すと連続点灯 読み取らないと 5 秒後、点滅		 *8AC6*
	コンティニュー トリガーを押すと連続点灯 オフにならない		 *8AC1*
2 度読み防止 他のコードを読むか消灯 するまで同じコードを読 まない	禁止	✓	 *8B60*
	許可 モーメンタリ、オルタネー ト、コンティニュー時に有効		 *8B61*
電源オン時のトリガー スキャナに電源が入ると 赤色 LED が点灯	禁止	✓	 *0A50*
	許可		 *0A51*
同一コードの読取禁止時間 トリガーモードがグッドリードオフ以外に有効 (次に)→0~255(単位:100ms)→セット→設定終了		5	 *8112*

**メモ** 2 度読み防止を許可に設定すると「同一コードの読取禁止時間」は無効になります。

## 10-5 動作設定 LED






設定	初期値	設定メニュー
読取確認の青色 LED 点灯時間 スキャナ上部の読取確認のランプの設定です (次に)→0~255(単位:10ms)→セット→設定終了	20	 *8192*
読取光源の赤色 LED 点灯時間 (次に)→0~255(単位:1s)→セット→設定終了	5	 *8172*

**メモ** 読取光源の赤色 LED 点灯時間は 10-3-2 トリガーモード「グッドリードオフ」「タイムアウトオフ」「タイムアウトフラッシュ」の点灯時間の設定です。

## 10-6 動作設定 読み取り一致



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り一致	禁止	✓	 *8B70*
	許可 読み取りの正確さが向上します		 *8B71*
読み取り一致回数 読み取り一致を許可に設定したとき有効です (次に)→1~10(単位:回)→セット→設定終了		2	 *8102*

**メモ** 読み取り一致を「許可」に設定すると読み取りデータの正確さが向上します。バーコードを読み取るとき、スキャナ内部で連続して同じデータを得られたときのみ、ホストにデータを転送します。

**例** 設定開始 → 読み取り一致 許可 → 設定終了

**メモ** 読み取り一致を「許可」に設定した上で、「読み取り一致回数」を多く設定すると、正確さがさらに向上します。そのかわり、品質が低いバーコードは読み取り速度が低下するか読み取らなくなります。出荷時の回数=2、最大の回数=10

**例** 設定開始 → (読み取り一致 許可) → 読み取り一致回数 → 3 → セット → 設定終了



## 10-8 動作設定 バーコードタイプ、コードID、桁数の転送







	設定	初期値	設定メニュー
バーコードタイプ転送	禁止	✓	 *8C00*
	許可 <b>例</b> Code39 の場合 1234→(Code-39)1234		 *8C01*
コード ID 転送	禁止	✓	 *8C30*
	許可 <b>例</b> Code39 の場合 1234→M1234		 *8C31*
コード ID の位置	データの前に転送する	✓	 *8C20*
	データの後に転送する <b>例</b> Code39 の場合 1234→1234M		 *8C21*
桁数転送	禁止	✓	 *8C50*
	許可 <b>例</b> 6 桁のデータの場合 123456→06123456		 *8C51*

**メモ** コードIDのキャラクタについては第8章8-2「コードID一覧」をご確認下さい

## 10-9 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
--	---

	設定	初期値	設定メニュー
アルファベット大文字 小文字の変換	禁止	✓	 *8E80*
	例 ABcd→ABcd と出力する 大小を逆に変換 許可		 *8E81*
	例 ABcd→abCD と出力する すべて小文字に変換 許可		 *8E82*
	例 ABcd→abcd と出力する すべて大文字に変換 許可		 *8E83*
	例 ABcd→ABCD と出力する		

## 10-10 動作設定 制御文字の転送



設定		初期値	設定メニュー
制御文字の転送	禁止	✓	 * 8 C 4 0 *
	許可 <b>例</b> Code128 の HT(09h)→Tab キーに変換し転送します		 * 8 C 4 1 *

**メモ** 制御文字の転送を **許可** に設定すると、読み取りデータ内のアスキー制御文字をホスト（パソコン）に転送します。制御文字は、USB HID キーボードインターフェースではキーボードのファンクションキーとして転送されます。例えばアスキー制御文字の HT(0x09)は Tab キー、CR(0x0D)は Enter キーとして転送します。制御文字に対する本製品のファンクションキーへの割り当てはアスキーコード表(巻末)を参照して下さい。

## 10-11 動作設定 最小読取桁数 / 最大読取桁数



設定	初期値	設定メニュー
<b>最小読取桁数</b> UPC/EAN/JAN,2 of 5 以外のコードタイプに設定 (次に)→0~255(単位:桁)→セット→設定終了	0	 ★ 8 1 E 2 ★
<b>最大読取桁数 全コードタイプ</b> UPC/EAN/JAN,2 of 5 以外のコードタイプに設定 (次に)→0~255(単位:桁)→セット→設定終了	0	 ★ 8 1 F 2 ★

**メモ** UPC/EAN/JAN、2 of 5 以外のコードタイプ (Code39、Codabar/NW7、Code128 など) の読み取りできる桁数を共通して設定します。

- ・ **最小読取桁数** と **最大読取桁数** を **0** に設定すると、どの桁でも読み取ります。
- ・ **最小読取桁数** は設定した桁以上を読み取ります。
- ・ **最大読取桁数** は設定した桁以下を読み取ります。
- ・ **最小読取桁数** と **最大読取桁数** を同じ桁数に設定すると、その桁のみ読み取ります。

**例** 最小読取桁数を 6 桁に設定する

設定開始 → 最小読取桁数 → 6 → セット → 設定終了

設定後は 6 桁以上のバーコードを読み取ります。1~5 桁のバーコードは読み取らなくなります。

**メモ** Interleaved 2 of 5 など 2of 5 の読取桁数は、それぞれの読取設定のページにある最小読取桁数と最大読取桁数のメニューで設定して下さい。

**メモ** コードタイプごとに読取桁数を設定するには、コードタイプごとの最小読取桁数と最大読取桁数を設定して下さい。



## 10-12 読取設定 UPC-A

設定開始	設定終了
	

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *AA70*
	許可	✓	 *AA71*
チェックデジット転送	禁止		 *AA60*
	許可	✓	 *AA61*
アドオンの読み取り	禁止	✓	 *AB90*
	許可 2桁		 *AB91*
	許可 5桁		 *AB92*
	許可 2桁と5桁		 *AB93*
アドオンの確認	禁止	✓	 *AA00*
	許可 アドオンがあるか確認する		 *AA01*
アドオンの確認回数 アドオンがあるか確認する回数 (次に)→0~255→セット→設定終了		10	 *8132*

## 10-12(続き) 読取設定 UPC-A



	設定	初期値	設定メニュー
先頭から連続する 0 の削除	禁止	✓	 *A A 5 0*
	許可 例 000001234565 → 1234565 と転送する		 *A A 5 1*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	1	 *A 0 8 2*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *A 0 9 2*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *A 0 C 2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *A 0 D 2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *A 0 E B*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *A 1 0 B*
コード ID の文字 (次に)→ASCII(最大 2 桁)→セット→設定終了		A	 *A 1 2 B*

**メモ** 先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で転送する(または UPC-A に 0 を付けて 13 桁で転送する)には次の通り設定して下さい。

設定開始 → (UPC-A データの削除) 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了


又は巻末付録 B 「先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で転送する設定」をご使用下さい。

**メモ** UPC-A (12 桁) を 11 桁で転送するには次の通り設定して下さい。

設定開始 → (UPC-A データの削除) 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

## 10-13 読取設定 UPC-E

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div> 
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *BA70*
	許可	✓	 *BA71*
チェックデジット転送	禁止		 *BA60*
	許可	✓	 *BA61*
アドオンの読み取り	禁止	✓	 *BB90*
	許可 2桁		 *BB91*
	許可 5桁		 *BB92*
	許可 2桁と5桁		 *BB93*
アドオンの確認	禁止	✓	 *BA00*
	許可 アドオンがあるか確認する		 *BA01*
アドオンの確認回数 アドオンがあるか確認する回数 (次に)→0~255→セット→設定終了		10	 *8132*

## 10-13(続き) 読取設定 UPC-E

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

	設定	初期値	設定メニュー
13桁に変換	禁止	✓	 *BA10*
	許可 例 02345673 →0023456000073 と転送する		 *BA11*
1桁目から連続する0を削除	禁止	✓	 *BA50*
	許可 例 00001233→1233 と転送する		 *BA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *B082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *B092*
挿入データの位置	挿入0の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *B0C2*
	挿入1の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *B0D2*
挿入するデータ	挿入0のデータ (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		 *B0EB*
	挿入1のデータ (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		 *B10B*
コードIDの文字  (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		E	 *B12B*
サブコードIDの文字 13桁に変換を許可にしたときのコードIDです (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		E	 *B14B*

## 10-14 読取設定 EAN 13 / JAN 13



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *CA70*
	許可	✓	 *CA71*
チェックデジット転送	禁止		 *CA60*
	許可	✓	 *CA61*
アドオンの読み取り	禁止	✓	 *CB90*
	許可 2桁		 *CB91*
	許可 5桁 新雑誌コードを読み取る		 *CB92*
	許可 2桁と5桁		 *CB93*
アドオンの確認	禁止	✓	 *CA00*
	許可 アドオンがあるか確認する		 *CA01*
アドオンの確認回数 アドオンがあるか確認する回数 (次に)→0~255→セット→設定終了		10	 *8132*

**メモ** 先頭が0のJAN13は12桁で転送します。13桁で転送するに巻末の付録B「先頭が0のJAN13を13桁で転送する設定」をご使用下さい。

## 10-14(続き) 読取設定 EAN 13 / JAN 13

設定開始	設定終了
	

	設定	初期値	設定メニュー
	ISBN/ISSN 形式に変換 禁止	✓	 *CA10*
	許可 例 9789572222720 →9572222724 と転送します		 *CA11*
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	✓	 *CA50*
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する		 *CA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設 定終了	0	 *C082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設 定終了	0	 *C092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設 定終了	0	 *C0C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設 定終了	0	 *C0D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *C0EB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *C10B*
コード ID の文字  (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		F	 *C12B*
サブコード ID の文字 ISBN/ISSN 形式に変換を許可にしたときのコード ID (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		F	 *C14B*

## 10-15 読取設定 EAN 8 / JAN 8

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *DA70*
	許可	✓	 *DA71*
チェックデジット転送	禁止		 *DA60*
	許可	✓	 *DA61*
アドオンの読み取り	禁止	✓	 *DB90*
	許可 2桁		 *DB91*
	許可 5桁		 *DB92*
	許可 2桁と5桁		 *DB93*
アドオンの確認	禁止	✓	 *DA00*
	許可 アドオンがあるか確認する		 *DA01*
アドオンの確認回数 アドオンがあるか確認する回数 (次に)→0~255→セット→設定終了		10	 *8132*

## 10-15(続き) 読取設定 EAN 8 / JAN 8

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
---	---

	設定	初期値	設定メニュー
13桁に変換	禁止	✓	 *DA10*
	許可 例 42345671 →0000042345671 と転送する		 *DA11*
1桁目から連続する0を削除	禁止	✓	 *DA50*
	許可 例 00001236→1236 と転送する		 *DA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *D082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *D092*
挿入データの位置	挿入0の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *D0C2*
	挿入1の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *D0D2*
挿入するデータ	挿入0のデータ (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		 *D0EB*
	挿入1のデータ (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		 *D10B*
コードIDの文字  (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		FF	 *D12B*
サブコードIDの文字 13桁に変換を許可にしたときのコードID (次に)→アスキー(最大2桁)→セット→設定終了		FF	 *D14B*

## 10-16 読取設定 Code 39

設定開始	設定終了
	

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *EA70*
	許可	✓	 *EA71*
スタート/ストップ転送	禁止	✓	 *EA20*
	許可 *がデータ前後に付きます 例 1234→*1234*と転送する		 *EA21*
チェックデジット確認	禁止	✓	 *EBB0*
	許可 MOD43 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 *EBB1*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *EA60*
	許可		 *EA61*
Code 39 の形式	標準の Code 39	✓	 *EB90*
	Full アスキー Code 39		 *EB91*

## 10-16(続き) 読取設定 Code 39

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E0A2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E0B2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *EA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *EA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E0C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *E0D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *E0EB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *E10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	M	 *E12B*	

## 10-17 読取設定 Interleaved 2 of 5 (ITF)

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div> 
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *HA70*
	許可		 *HA71*
チェックデジット確認	禁止	✓	 *HBB0*
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 *HBB1*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *HA60*
	許可		 *HA61*
左右余白の減少 <b>メモ</b> バージョン 0001-0015 以上が対応	禁止	✓	 *HA40*
	許可 バーコードを囲う枠線があるITFを読み取るようになります		 *HA41*

**メモ** Interleaved 2 of 5 は出荷時の初期設定では読み取り**禁止**になっています。  
 また、最小読取桁数は **4** 桁になっています(次ページ参照)。

# 10-17(続き) 読取設定 Interleaved 2 of 5 (ITF)

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	4	 ＊HOA2＊
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊HOB2＊
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 ＊HA50＊
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  ＊HO82＊
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  ＊HO92＊
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  ＊HOC2＊
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  ＊HOD2＊
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	 ＊HOEB＊
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	 ＊H10B＊
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	I	 ＊H12B＊

## 10-18 読取設定 Industrial 2 of 5

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div> 
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 * I A 7 0 *
	許可		 * I A 7 1 *
チェックデジット確認	禁止	✓	 * I B B 0 *
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 * I B B 1 *
チェックデジット転送	禁止	✓	 * I A 6 0 *
	許可		 * I A 6 1 *

## 10-18 読取設定 Industrial 2 of 5(続き)

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I O A 2 *	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I O B 2 *	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 * I A 5 0 *	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 * I A 5 1 *
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I A 8 2 *
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I A 9 2 *
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I O C 2 *
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 * I O D 2 *
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 * I O E B *
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 * I 1 O B *
コード ID (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	H	 * I 1 2 B *	

## 10-19 読取設定 Matrix 2 of 5

設定開始	設定終了
	

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *JA70*
	許可		 *JA71*
チェックデジット確認	禁止	✓	 *JBB0*
	許可 MOD10 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 *JBB1*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *JA60*
	許可		 *JA61*

# 10-19(続き) 読取設定 Matrix 2 of 5

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JOA2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JOB2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *JA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *JA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JO82*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JO92*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JOC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *JOD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *JOEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *J10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	G	 *J12B*	

## 10-20 読取設定 Codabar / NW7

設定開始	設定終了
	

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 *GA70*
	許可	✓	 *GA71*
スタート/ストップ転送	禁止	✓	 *GA20*
	許可 A がデータ前後に付きます 例 1234→A1234A と転送する		 *GA21*
スタート/ストップ転送形式	ABCD/ABCD	✓	 *GB90*
	abcd/abcd		 *GB91*
	ABCD/TN*E		 *GB92*
	abcd/tn*e		 *GB93*
チェックデジット確認	禁止	✓	 *GBB0*
	許可 MOD16 チェックデジットがある場合のみ読み取ります		 *GBB1*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *GA60*
	許可		 *GA61*






## 10-20(続き) 読取設定 Codabar / NW7


<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GOA2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GOB2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *GA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *GA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GO82*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GO92*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GOC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *GOD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *GOEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *G10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	N	 *G12B*	

## 10-21 読取設定 Code 128



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止		 <b>*FA70*</b>
	許可	✓	 <b>*FA71*</b>
転送形式	標準 Code 128 と GS1-128 をその まま転送します	✓	 <b>*FB90*</b>
	UCC 128 GS1-128 の先頭にJC1 が付き ず <b>メモ</b>		 <b>*FB91*</b>
	GS1-128 GS1-128 の AI に括弧() を付 けます		 <b>*FB92*</b>
区切り FNC1 の文字 (UCC 128 用 FW 0001-0021 以上) (次に)→アスキー(最大 1 桁)→セット→設定終了 初期値 1D を設定すると 4 文字の<GS>になります。		<GS>	 <b>*F06A*</b>
AI のカッコの文字 (GS1-128 用 FW 0001-0021 以上) (次に)→アスキー(最大 1 桁)→セット→設定終了 初期値 28 を設定すると AI の左に(、右に)が付きます。		()	 <b>*F07A*</b>

区切り文字(UCC 128/GS1-128 共用 FW 0001-0020 以下) (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了 初期値 28 で区切り FNC1 は()になり、AI 左右()になります。	()	 <b>*F16B*</b>
--	----	---

**メモ** 転送形式と転送例 (制御文字の転送は第 10 章 10-10 を参照して下さい)  
 GS1-128 の目視文字が (01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234 の場合

転送形式	制御文字の転送	転送例
標準	禁止	012451234567890017181200301010A1234
	許可 ※1	012451234567890017181200301010 <b>0x1D</b> A1234
UCC-128	禁止 ※2	<b>JC1</b> 0124512345678900171812003010<GS>10A1234
	許可 ※2	<b>JC1</b> 0124512345678900171812003010<GS>10A1234
GS1-128	禁止	(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234
	許可	(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234

※1 FW 0001-0021 以上が対応。これより前の FW は許可のとき 0x1D を転送しません。

0x1D(アスキー制御文字 GS)は USB バーチャル COM のときのキャラクタです。USB HID キーボードインターフェースでは F12 キーになります。

※2 この<GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

## 10-21(続き) 読取設定 Code 128

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊FOA2＊	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊FOB2＊	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 ＊FA50＊	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 ＊FA51＊
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊F082＊
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊F092＊
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊F0C2＊
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 ＊F0D2＊
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 ＊FOEB＊
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 ＊F10B＊
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	K	 ＊F12B＊	
サブコード ID の文字 転送形式が UCC 128 か GS-128 のときのコード ID (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	K	 ＊F14B＊	

## 10-22 読取設定 Code 93

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div> 
---	---

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *KA70*
	許可		 *KA71*
チェックデジット確認	禁止		 *KBB0*
	許可 チェックデジット1桁		 *KBB1*
	許可 チェックデジット2桁	✓	 *KBB2*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *KA60*
	許可		 *KA61*

## 10-22(続き) 読取設定 Code 93

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div> 
--	--

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K0A2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K0B2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *KA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *KA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K0C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *K0D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *K0E2*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *K10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	L	 *K12B*	

## 10-23 読取設定 Code 11

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定開始</div> 	 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定終了</div>
---	---

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *LA70*
	許可		 *LA71*
チェックデジット確認	禁止		 *LBB0*
	許可 チェックデジット1桁		 *LBB1*
	許可 チェックデジット2桁	✓	 *LBB2*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *LA60*
	許可		 *LA61*

## 10-23(続き) 読取設定 Code 11

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定終了</div> 
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LOA2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LOB2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *LA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *LA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LO82*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LO92*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LOC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *LOD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *LOEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *L10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	0	 *L12B*	

## 10-24 読取設定 MSI/Plessey

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設定終了</div> 
---	---

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *MA70*
	許可		 *MA71*
チェックデジット確認	禁止		 *MBB0*
	許可 MOD10	✓	 *MBB1*
	許可 MOD10/10		 *MBB2*
	許可 MOD11/10		 *MBB3*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *MA60*
	許可		 *MA61*

## 10-24(続き) 読取設定 MSI/Plessey

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MOA2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MOB2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *MA50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *MA51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MO82*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MO92*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MOC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *MOD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *MOEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		 *M10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	P	 *M12B*	

## 10-25 読取設定 UK/Plessey

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div> 
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *NA70*
	許可		 *NA71*
チェックデジット確認	禁止		 *NBB0*
	許可 チェックデジットがある場合 のみ読み取ります	✓	 *NBB1*
チェックデジット転送	禁止	✓	 *NA60*
	許可		 *NA61*

## 10-25(続き) 読取設定 UK/Plessey

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定終了</div>
---	---

設定	初期値	設定メニュー
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *NOA2*
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *NOB2*
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *NA50*
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  *NO82*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  *NO92*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  *NOC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0  *NOD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	 *NOEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	 *N10B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	R	 *N12B*

## 10-26 読取設定 Telepen

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設定開始</div> 	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; float: right;">設定終了</div>
--	--

	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *0A70*
	許可		 *0A71*
転送形式	数字		 *0B90*
	アスキー		 *0B91*
	自動識別	✓	 *0B92*

## 10-26(続き) 読取設定 Telepen

設定開始	設定終了
	

設定	初期値	設定メニュー	
最小読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *00A2*	
最大読取桁数 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *00B2*	
1 桁目から連続する 0 を削除	禁止	 *0A50*	
	許可 例 000001234565→1234565 と転送する	✓	 *0A51*
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *0082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *0092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *00C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *00D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *00EB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *010B*
コード ID の文字 (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了	S	 *012B*	

## 10-27 読取設定 GS1 Databar (GS1 データバー標準型、切詰型)



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *PA70*
	許可 例 0104512345678906 →010451234567890 と転送		 *PA71*
]e0 を先頭に転送	禁止	✓	 *PA20*
	許可		 *PA21*
AI にカッコ( )を付加	禁止	✓	 *PA30*
	許可 例 010451234567890 →(01)0451234567890 と転送		 *PA31*
最終桁の転送 ファームウェアバージョン 0001-0021 以上は廃止。 0001-0020 以下用の設定です。	禁止	✓	 *PA60*
	許可 例 0104512345678906 →0104512345678906 と転送		 *PA61*

**メモ** FW 0001-0021 以上は最終桁を転送するようになりました。  
FW 0001-0020 以下は出荷時に最終桁を転送しません。最終桁が出ない場合は**許可**を設定して下さい。

**メモ** カッコ( )を正しく転送するには第 10 章 10-2 キーボードレイアウトを**日本キーボード**に設定して下さい。

**メモ** 先頭の 01 を転送しない設定 → 次のページの**メモ**を参照して下さい。

## 10-27(続き) 読取設定 GS1 Databar (GS1 データバー標準型、切詰型)



	設定	初期値	設定メニュー
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *P082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *P092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *POC2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *POD2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *POEB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *P10B*
コード ID の文字  (次に)→アスキー(最大 2 桁)→セット→設定終了		T	 *P12B*
AI のカッコの文字 (FW0001-0021 以上) (次に)→アスキー(最大 1 桁)→セット→設定終了 初期値 28 を設定すると AI の左に(、右に)が付きます。		()	 *P07A*

**メモ** 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



## 10-28 読取設定 GS1 Databar Limited (GS1 データバー限定型)



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *QA70*
	許可 例 0104512345678906 →010451234567890 と転送		 *QA71*
]e0 を先頭に転送	禁止	✓	 *QA20*
	許可		 *QA21*
AI にカッコ( )を付加	禁止	✓	 *QA30*
	許可 例 010451234567890 →(01)0451234567890 と転送		 *QA31*
最終桁の転送 ファームウェアバージョン 0001-0021 以上は廃止。 0001-0020 以下用の設定です	禁止	✓	 *QA60*
	許可 例 0104512345678906 →0104512345678906 と転送		 *QA61*

**メモ** FW 0001-0021 以上は最終桁を転送するようになりました。  
 FW 0001-0020 以下は出荷時に最終桁を転送しません。最終桁が出ない場合は **許可** を設定して下さい。

**メモ** カッコ( )を正しく転送するには第 10 章 10-2 キーボードレイアウトを **日本キーボード** に設定して下さい。

**メモ** 先頭の 01 を転送しない設定 → 次のページの **メモ** を参照して下さい。

## 10-28(続き) 読取設定 GS1 Databar Limited (GS1 データバー限定型)



	設定	初期値	設定メニュー
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *Q082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *Q092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *Q0C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *Q0D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *Q0EB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *Q10B*
コード ID の文字  (次に)→アスキー(英数 2 桁)→セット→設定終了		U	 *Q12B*
AI のカッコの文字 (FW0001-0021 以上) (次に)→アスキー(最大 1 桁)→セット→設定終了 初期値 28 を設定すると AI の左に(、右に)が付きます。		()	 *Q07A*

**メモ** 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



## 10-29 読取設定 GS1 Databar Stacked (GS1 データバー二層型、標準二層型)



	設定	初期値	設定メニュー
読み取り	禁止	✓	 *RA70*
	許可 例 0104512345678906 →010451234567890 と転送		 *RA71*
]e0 を先頭に転送	禁止	✓	 *RA20*
	許可		 *RA21*
AI にカッコ( )を付加	禁止	✓	 *RA30*
	許可 例 010451234567890 →(01)0451234567890 と転送		 *RA31*
最終桁の転送 ファームウェアバージョン 0001-0021 以上は廃止。 0001-0020 以下用の設定です	禁止	✓	 *RA60*
	許可 例 0104512345678906 →0104512345678906 と転送		 *RA61*

**メモ** FW 0001-0021 以上は最終桁を転送するようになりました。  
FW 0001-0020 以下は出荷時に最終桁を転送しません。最終桁が出ない場合は **許可** を設定して下さい。

**メモ** カッコ( )を正しく転送するには第 10 章 10-2 キーボードレイアウトを **日本キーボード** に設定して下さい。

**メモ** 先頭の 01 を転送しない設定 → 次のページの **メモ** を参照して下さい。

## 10-29(続き) 読取設定 GS1 Databar Stacked (GS1 データバー二層型、標準二層型)



	設定	初期値	設定メニュー
データの削除	前方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *R082*
	後方から削除 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *R092*
挿入データの位置	挿入 0 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *R0C2*
	挿入 1 の位置 (次に)→0~255→セット→設定終了	0	 *R0D2*
挿入するデータ	挿入 0 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *R0EB*
	挿入 1 のデータ (次に)→アスキー(最大 2 桁) →セット→設定終了		 *R10B*
コード ID の文字  (次に)→アスキー(最大 2 桁字)→セット→設定終了		V	 *R12B*
AI のカッコの文字 (FW0001-0021 以上) (次に)→アスキー(最大 1 桁)→セット→設定終了 初期値 28 を設定すると AI の左に(、右に)が付きます。		()	 *R07A*

**メモ** 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



## 第 11 章 保証と修理

### 11-1 保証

---

#### ■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

#### ■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

#### ■保証期間

お買い上げ日から 1 年 6 ヶ月間（対象製品 型番 AC-890）

#### ■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

#### ■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

## 11-2 修理

---

### ●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。

症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

### ●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

### ●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

### お問い合わせ先

製品についてご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社エイポック

ホームページ [www.a-poc.co.jp](http://www.a-poc.co.jp)

メール [info\\_mail@a-poc.co.jp](mailto:info_mail@a-poc.co.jp)

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第2ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-508-5202

付録 A サンプルバーコード

A-1

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



※ 印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

## A-2

Code 39



\*CODE39-1Q\*

Interleaved 2 of 5 (ITF) ※



14512345678903

※出荷時、読み取りは**禁止**※出荷時、最小読取桁数は**4**桁

Codabar / NW7



A1234567890A

Code 128



Code128-567890

GS1-128 ※



(01)14589012345673(17)131231(30)10(10)ABC

※出荷時、転送形式は**標準**、カッコなしで転送する

※ 印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。  
 ※ 長いバーコードは読取窓を離して読み取って下さい。

**A-3****メモ** GS1 Databar 各種について

- ・出荷時は読み取りません。読み取るには読み取り許可を設定して下さい。
- ・出荷時はAIにカッコを付加しません。カッコを付加するにはAIにカッコを付加許可を設定して下さい。
- ・ファームウェアバージョン 0001-0020 以下は、読み取り 許可に設定しても、最終桁を転送しません。最終桁を転送するには最終桁の転送を許可に設定して下さい。

GS1 Databar GS1 データバー標準型



(01)04512345678906

GS1 Databar Limited GS1 データバー限定型



(01)04598765432113

GS1 Databar Stacked GS1 データバー標準二層型



(01)04590123456786

※ 印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

## 付録 B 先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で転送する設定

上から順に読み取って下さい

設定開始



UPC-A 読み取り 許可 (出荷時の設定)



\* A A 7 1 \*

UPC-A チェックデジット転送 許可 (出荷時の設定)



\* A A 6 1 \*

UPC-A 前方から削除



\* A 0 8 2 \*

0



セット



設定終了



付録 C 英数メニュー


















アスキーコード表

L \ H	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

\*USB キーボードインターフェースが対応

\*\*USB バーチャル COM インターフェースが対応

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	
セット	

設定終了



